

## 巻頭言

黙秘権の行使

川出 敏裕 3

## 特集 緊急避難論の現代的課題

☆ 企画趣旨	深町 晋也	4
☆ DV反撃殺人事例と緊急避難	深町 晋也	7
☆ 強制と緊急避難	井上 宜裕	20
☆ 自動運転車による生命侵害と緊急避難	遠藤 聡太	26
☆ 行為指導と罪責追及のジレンマ	大屋 雄裕	38

## 特集 企業犯罪に対する手続法的対応

☆ 企業犯罪に対する刑事のおよび非刑事的対応	田口 守一	45
☆ 企業の違法行為に対する行政制裁と刑事制裁——主に手続法の観点から——	笹倉 宏紀	51
☆ 企業犯罪に対する刑事手続の対応——アメリカ法におけるDPA・NPAを中心に——	稲谷 龍彦	69
☆ 企業犯罪におけるコンプライアンス・プログラムの手続法的意義	原田 和往	77

## 外国刑事法事情

・中国における終末期医療をめぐる法的問題の現状と課題	劉 建利	85
----------------------------	------	----

## 外国刑事法研究

・タチアナ・ヘルンレ「犯罪化論 (Theories of Criminalization)」 ——比較刑法ノート(15)——	比較刑法研究会	91
---	---------	----

## 外国刑事法務事情

・英国刑事法務事情(56)——LVI 2018年6月～8月の主要動向——	清野 憲一	101
--------------------------------------	-------	-----

## 刑事裁判例批評

(369) オンライン上のストレージサービス内に被害者の裸体等を写した画像・動画データを保存し、公開設定をしてその公開用URLの発行を受けたというだけでは、いまだ各データの内容を不特定又は多数の者が認識し得る状態に置いたとみることとはできず、刑法175条1項前段等の公然陳列罪は成立しないとされた事例 ——大阪高判平成29・6・30判タ1447号114頁——	西岡 正樹	121
(370) 子に対する保護責任者遺棄致死被告事件について、被告人の故意を認めず無罪とした第1審判決に事実誤認があったとした原判決に、刑訴法382条の解釈適用を誤った違法があるとされた事例 ——最(二小)決平成30・3・19刑集72巻1号1頁——	三好 幹夫	127
(371) 被告人が強姦及び強制わいせつの犯行の様子を隠し撮りした各デジタルビデオカセットが刑法19条1項2号にいう「犯罪行為の用に供した物」に当たるとされた事例 ——最(一小)決平成30・6・26刑集72巻2号209頁——	滝谷 英幸	137
(372) 押収済みのパソコンから検証許可状に基づき海外メールサーバにリモートアクセスを行った捜査に重大な違法があるとして証拠排除した事例 ——東京高判平成28・12・7高刑集69巻2号5頁、判時2367号107頁——	四方 光	143
(373) いわゆるSTR型によるDNA型鑑定の信用性を否定した原判決が破棄された事例 ——最(一小)判平成30・5・10刑集72巻2号141頁——	村瀬 均	151

## 書評

・高橋直哉著『刑法基礎理論の可能性』(2018年、成文堂)	飯島 暢	158
-------------------------------	------	-----

◆最新刊

## 日高義博先生古稀祝賀論文集 上巻・下巻

高橋則夫・山口 厚・井田 良・川出敏裕・岡田好史 編

A 5 上製/624頁・582頁/各15,000円

### 刑法概説

松原芳博 著

A 5 並製/254頁/2,600円

性犯罪改正等の最新の法改正及び重要判例に対応し、刑法総論・各論の全体像を俯瞰しつつ各論点を明快に分析する。簡潔・平明に解説し、1冊で「刑法が分かった」と納得できる書。

### 刑事法入門

上野幸彦・太田 茂 著

B 5 並製/252頁/2,200円

重要な判例を織り込みながら、刑事実体法と手続法の全体について基本的・全般的な素養を取得できるよう工夫した、学部生、ロースクール生、若手警察官等のために最適な刑事法入門書。

### 講義刑法総論〔第2版〕

関 哲夫 著

A 5 並製/592頁/4,500円

初版以降の重要判例を加え、刑法総論の講義用として様々な工夫をこらし、1回の講義で完結するよう重要項目を選定して、法律要件論に立脚した要件的思考法により口語体で解説する基本書。

### 刑法総論〔第4版〕

高橋則夫 著

A 5 上製/638頁/4,000円

刑法の行為規範と制裁規範という視点から犯罪論・刑罰論を構築する。最近の判例・学説を多数フォローし、私見を展開する。法科大学院・法学部生必読の本格的体系書。

### 刑法各論〔第3版〕

高橋則夫 著

A 5 上製/796頁/4,500円

法改正を踏まえ、性犯罪及びそれと関連する犯罪の記述を大幅に加筆するとともに、判例・学説の展開をフォローする。各犯罪の成立要件が身体に染み込み、具体的事実を適切に処理する能力を養成することを旨とした法科大学院・法学部生にとって必読の本格的体系書、待望の第3版。

### 新錯誤論

香川達夫 著

A 5 上製/290頁/6,000円

刑法における錯誤論に関して、日独の論争が絢爛百花の相を呈するのに対して、英米法制は比較的淡泊であるという現状を踏まえて、錯誤論争の簡素化を模索する論文集。

### 被害者の承諾

吉田敏雄 著

A 5 並製/182頁/3,000円

「被害者の承諾」を巡る諸問題について、ドイツ語圏刑法学における理論状況を追跡することにより、日本刑法学の理論状況と位置価値を明らかにする。「刑法理論の基礎」シリーズ第6巻。

### 刑事責任能力論

竹川俊也 著

A 5 上製/318頁/7,000円

精神の障害及び弁識・制御能力という従来の観念的な議論を機能面で見直し、責任能力判断の実践に耐えうる実体要件の構築という、裁判実務からの理論的要請に応えることを目的とする。

### 共犯の基礎理論

外木央見 著

A 5 上製/424頁/8,500円

ドイツ刑法学から得られた知見をわが国の刑法学の脈絡に引き直して、共犯論上の諸問題に検討を加え、妥当な解決のための理論的基礎を提示し、共犯本質と構造を明らかにする論文集。

### ネットワーク犯罪と刑法理論

渡邊卓也 著

A 5 上製/296頁/6,000円

ボルノ表現、盗撮画像などのコンピュータ・ネットワーク上の表現規制に加えて、電子マネーの保護やネットワークセキュリティ保護に係る犯罪の重要論点を分析する。

◆好評書

### 取調べのビデオ録画——その撮り方と証拠化——

牧野 茂・小池振一郎 編

A 5 並製/118頁/2,000円

「そもそも人は見たいものしか見ない」。取調べの可視化メリット論が先行する中、可視化の意義は何か、取調べ録画映像の実質証拠化の可否等、その撮り方と危険性を問題提起する警鐘の書。

### 刑法基礎理論の可能性

高橋直哉 著

A 5 上製/336頁/6,500円

自由に共通の価値を認める自律した理性的主体たる人格としての諸個人によって構成されている共同体において、刑法はいかなる役割を果たすであろうか、という視点から分析した論文集。

### 刑事政策〔第2版〕

川出敏裕・金光旭 著

A 5 並製/556頁/3,500円

刑の一部執行猶予制度の導入、少年法、刑訴法の改正等の最新の立法動向を踏まえ、刻々と変化する刑事政策の最新状況を理解するために有用な情報を可能な限り盛り込む定評ある基本書。

### 刑事手続の新展開 (上)・(下)

三井 誠・渡邊一弘・岡 慎一・植村立郎 編

A 5 上製/606頁・694頁/各6,500円

刑事手続をめぐる30テーマについて、主に実務的な視点から、運用の実態等を示した上で、法曹三者がそれぞれの立場からの法解釈、必要に応じて制度・立法の在るべき姿を描き出す。



成文堂

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町514 価格は税抜きです  
http://www.seibundoh.co.jp 電話03(3203)9201(代)・FAX 03(3203)9206